

# みずほ豪ドル債券ファンド

## <愛称：コアラの森>

追加型投信／海外／債券

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「みずほ豪ドル債券ファンド」は、2018年10月22日に第179期の決算を行いました。

当ファンドは、オーストラリアの信用力の高い公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年4月21日～2018年10月22日

第174期	決算日：2018年5月21日	
第175期	決算日：2018年6月20日	
第176期	決算日：2018年7月20日	
第177期	決算日：2018年8月20日	
第178期	決算日：2018年9月20日	
第179期	決算日：2018年10月22日	
第179期末 (2018年10月22日)	基準価額	5,268円
	純資産総額	94,081百万円
第174期～ 第179期	騰落率	△2.3%
	分配金合計	150円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。  
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

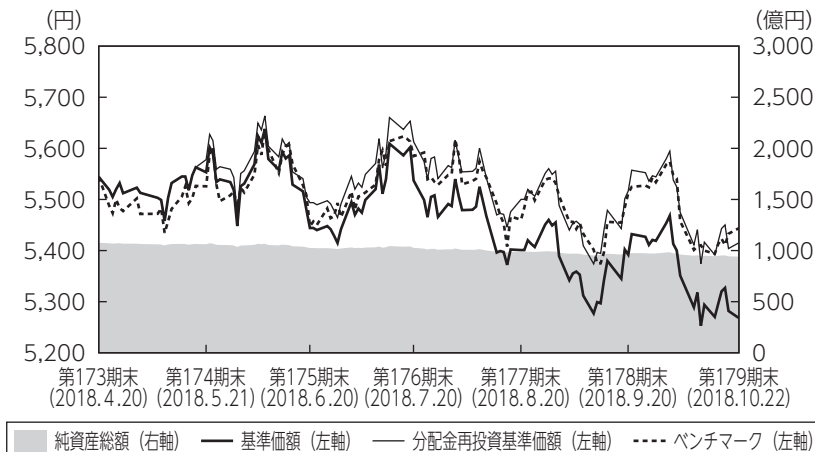
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第174期首： 5,544円  
 第179期末： 5,268円  
 (既払分配金150円)  
 騰落率：  $\Delta 2.3\%$   
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク(ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(為替ノーヘッジ・円換算ベース))は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

### 基準価額の主な変動要因

「MH AM豪ドル債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、オーストラリアの公社債に投資を行った結果、市況は上昇しましたが、豪ドルが対円で下落したことなどから基準価額は下落しました。

## 1 万口当たりの費用明細

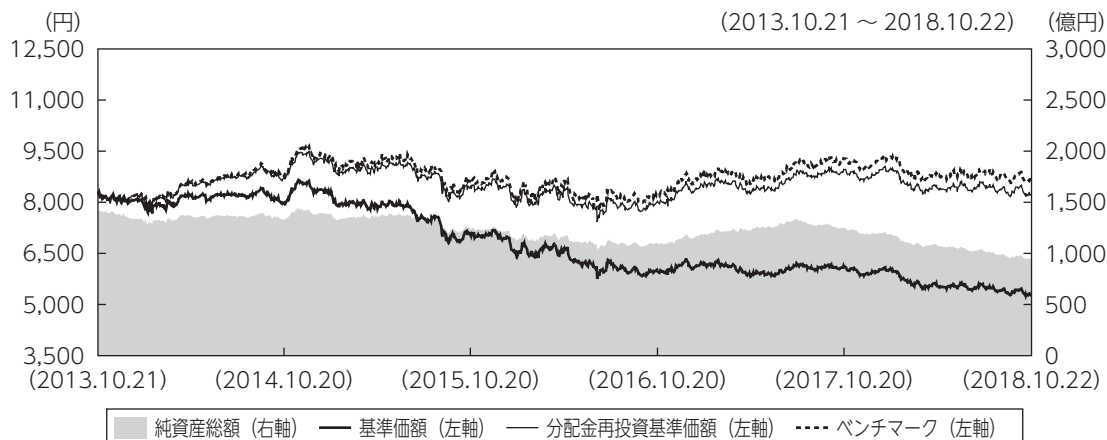
項目	第174期～第179期		項目の概要
	(2018年4月21日 ～2018年10月22日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	37円	0.684%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,462円です。
(投信会社)	(19)	(0.356)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(16)	(0.301)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(先物・オプション)	( 0)	(0.000)	売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
			有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	1	0.017	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.015)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	38	0.701	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 最近5年間の基準価額等の推移



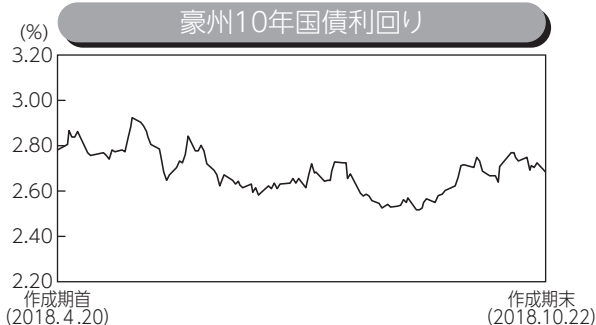
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク(ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(為替ノーヘッジ・円換算ベース))は、2013年10月21日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2013年10月21日 期首	2014年10月20日 決算日	2015年10月20日 決算日	2016年10月20日 決算日	2017年10月20日 決算日	2018年10月22日 決算日
基準価額 (分配落)	(円) 8,228	7,976	7,046	5,980	6,098	5,268
期間分配金合計 (税引前)	(円) -	720	720	720	545	350
分配金再投資基準価額の騰落率	(%) -	6.0	△3.1	△5.0	11.5	△8.1
ベンチマークの騰落率	(%) -	6.5	△1.6	△4.5	12.7	△6.5
純資産総額	(百万円) 142,042	133,112	124,043	109,822	124,822	94,081

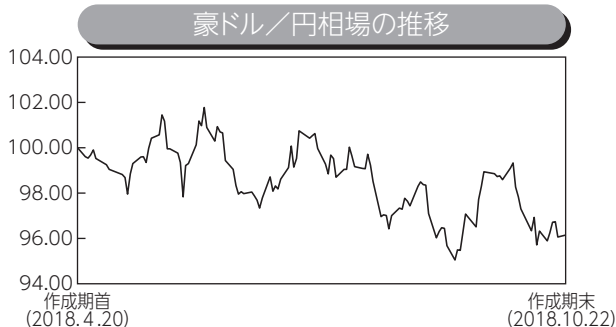
(注) ベンチマークは、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いております。

## 投資環境

### ● 豪州債券市況と為替市場



(注) 値は前営業日のものを用いております。



(注) 作成期首の値を100として指数化しています。

豪州10年国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。作成期首から8月下旬にかけては、欧州の政治的な不透明感の高まりや、米中貿易摩擦に対する警戒感、トルコリラ急落などに伴うリスク回避姿勢の高まりなどを背景に低下基調で推移しました。しかしその後は、原油価格の上昇や新興国情勢を巡る懸念の後退などを背景とした米国金利の上昇の動きに連れて上昇し、低下幅を縮小しました。

社債と国債との利回り格差（信用スプレッド）は、拡大しました。

豪ドルは対円で下落しました。作成期首から7月下旬にかけては方向感なく推移しましたが、その後は米中貿易摩擦に対する警戒感やトルコリラ急落などに伴うリスク回避姿勢の高まりなどから9月上旬にかけて下落しました。その後反発する場面もありましたが、作成期末にかけてはイタリアの財政懸念の高まりなどから再び下落しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

「MHAM豪ドル債券マザーファンド」 受益証券の組入比率を高位に維持しました。

### ●MHAM豪ドル債券マザーファンド

利回り水準が相対的に高く魅力的と考えられる普通社債を中心としたポートフォリオを維持し、組入比率も引き上げました。一方で、国際機関債や地方債の組入比率を引き下げました。

格付別では、A A格の比率を引き上げた一方、A格やA A A格の比率を引き下げました。また、格付がB B B格に引き下げられているウールワース（小売業）の債券は当作成期も保有を継続しました。修正デュレーションについては、おおむねベンチマーク並みの水準を中心に調整しました。債券の組入比率については、高位を維持しました。

為替ヘッジは行いませんでした。

上記の通り運用を行った結果、基準価額は下落しました。主な変動要因は以下の通りです。

<主な上昇要因>

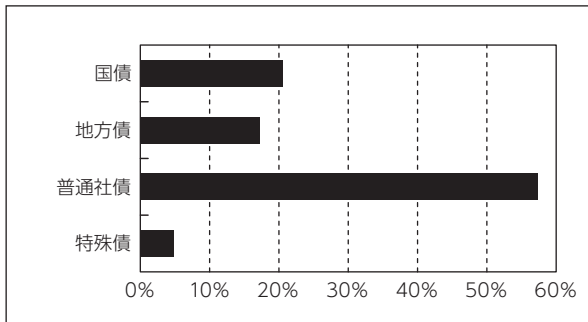
- ・債券投資による利息収入。
- ・保有している債券価格が上昇したこと。

<主な下落要因>

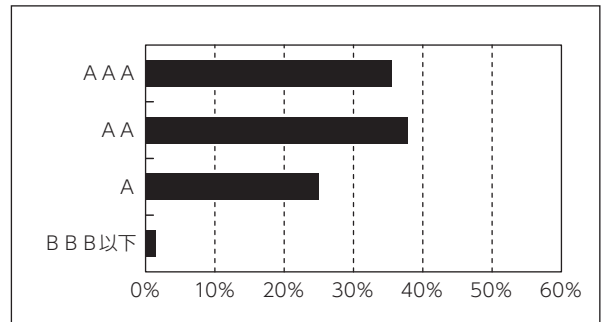
- ・豪ドルが対円で下落したこと。

作成期末：2018年10月22日

種別保有比率



格付別保有比率



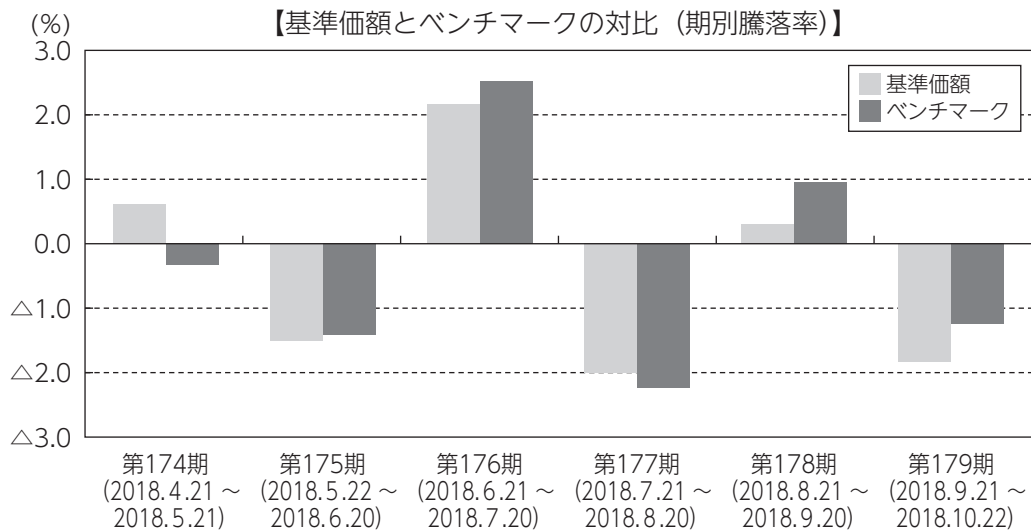
(注1) 保有比率についてはMHAM豪ドル債券マザーファンドの債券部分を100%換算したものをを用いております。

格付けはS & P、Moody'sのうち、高い方の格付けを採用しています。(表記方法はS & Pに準拠)

(注2) 特殊債とは国際機関債と政府機関債を合計した項目です。

## ベンチマークとの差異について

「MHAM豪ドル債券マザーファンド」受益証券への投資を通じてオーストラリアの公社債に投資した結果、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は、ベンチマークを下回りました。利回り水準が相対的に高い社債をベンチマークに対して多めに組み入れたことなどがプラスに寄与しましたが、信託報酬などのマイナス要因を上回ることが出来ませんでした。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

当作成期の収益分配金は、利息収入相当分を中心とし、基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第174期	第175期	第176期	第177期	第178期	第179期
	2018年4月21日 ~2018年5月21日	2018年5月22日 ~2018年6月20日	2018年6月21日 ~2018年7月20日	2018年7月21日 ~2018年8月20日	2018年8月21日 ~2018年9月20日	2018年9月21日 ~2018年10月22日
当期分配金（税引前）	25円	25円	25円	25円	25円	25円
対基準価額比率	0.448%	0.457%	0.449%	0.461%	0.462%	0.472%
当期の収益	16円	11円	17円	11円	12円	11円
当期の収益以外	8円	13円	7円	13円	12円	13円
翌期繰越分配対象額	349円	336円	328円	315円	303円	289円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

「MHAM豪ドル債券マザーファンド」受益証券の組入れを高位に維持します。

### ●MHAM豪ドル債券マザーファンド

底堅い個人消費を中心に内需主導の経済成長が今後も期待されることから、豪州の10年国債利回りも緩やかに上昇すると予想します。また、豪ドルは豪州景気の緩やかな回復見通しや、資源価格の底堅い推移などが支援材料になると思われますが、米国の通商政策の動向には留意が必要であると考えます。

主として、オーストラリアの信用力の高い公社債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指します。公社債の組入比率は、高位を保つことを基本とします。

債券の種別配分については、利回り水準が魅力的な社債の組入れを中心として、割安な銘柄を発掘していく方針です。修正デュレーションは、上記見通しに基づき、ベンチマーク並みの水準としています。また、グローバルな経済状況を確認の上、機動的に調整していく方針です。

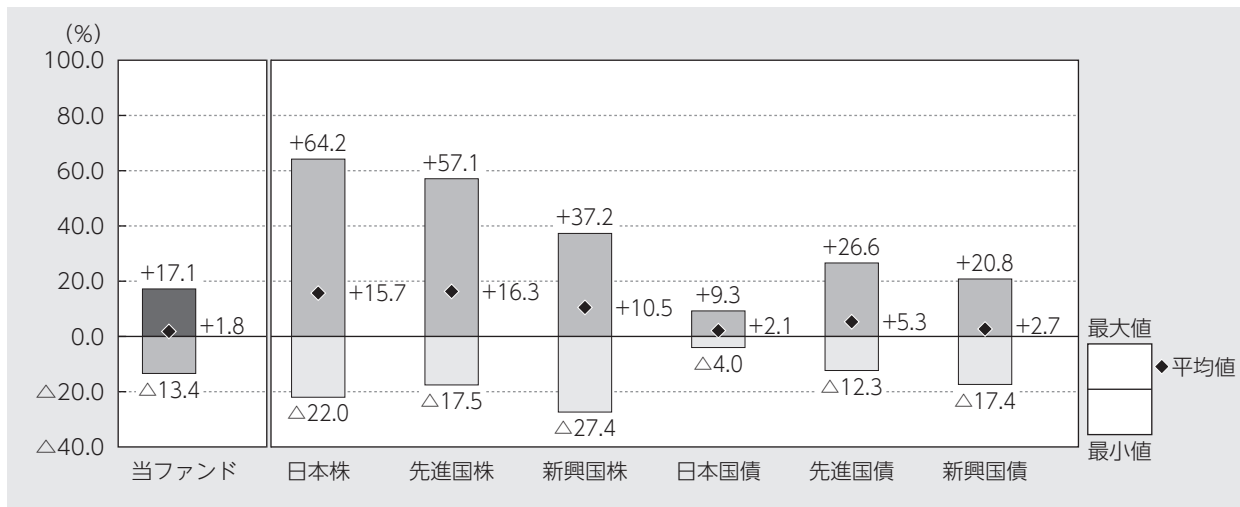


## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2003年10月30日から無期限です。 なお、クローズド期間はありません。	
運用方針	主として、オーストラリアの信用力の高い公社債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	みずほ豪ドル債券 ファンド	MHAM豪ドル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	MHAM豪ドル債券 マザーファンド	オーストラリアの信用力の高い公社債を主要投資対象とします。
運用方法	<p>公社債の組入比率は高位を保つことを基本とし、主に豪ドル建ての国債、州政府債、事業債などに投資します。投資対象は、取得時においてA－（A3）格相当以上の格付けを得ている公社債とするとともに、ファンド全体の加重平均格付けをAA－（Aa3）格相当以上とすることを基本とします。</p> <p>ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ノーヘッジ・円換算ベース）をベンチマークとして、中・長期的にベンチマークを上回る運用成果を目指します。</p> <p>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>MHAM豪ドル債券マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限を、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに委託します。</p>	
分配方針	<p>毎期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。以下同じ。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として利息収入相当分を中心とし、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>なお、売買益については、原則として毎年5月および11月の決算時に委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案したうえで、分配することを目指します。</p>	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。（ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてペビ－ファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。）

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2013年10月～2018年9月

(注1) 上記のグラフは2013年10月から2018年9月の5年間における1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

## \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……NOMURA-BPI国債

先進国債……FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容 (2018年10月22日現在)

#### ◆組入ファンド等

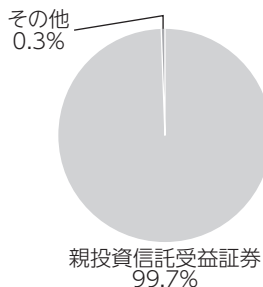
(組入ファンド数：1ファンド)

	第179期末
	2018年10月22日
MHAM豪ドル債券マザーファンド	99.7%

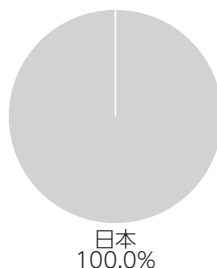
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

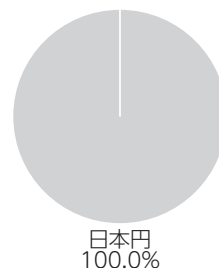
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計(除く現金)に対する割合です。

(注2) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

### 純資産等

項目	第174期末	第175期末	第176期末	第177期末	第178期末	第179期末
	2018年5月21日	2018年6月20日	2018年7月20日	2018年8月20日	2018年9月20日	2018年10月22日
純資産総額	106,141,186,977円	102,454,486,117円	102,643,593,481円	98,581,110,583円	96,764,854,186円	94,081,718,002円
受益権総口数	191,129,026,379口	188,183,272,905口	185,376,049,757口	182,519,156,467口	179,450,184,300口	178,595,775,840口
1万口当たり基準価額	5,553円	5,444円	5,537円	5,401円	5,392円	5,268円

(注) 当作成期間(第174期~第179期)における追加設定元本額は6,740,180,496円、同解約元本額は22,264,485,393円です。

## 組入ファンドの概要

【MHAM豪ドル債券マザーファンド】（計算期間 2017年1月21日～2018年1月22日）

### ◆基準価額の推移



### ◆1万口当たりの費用明細

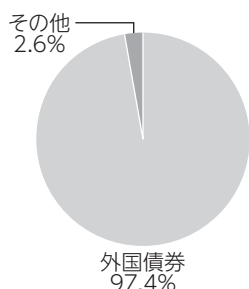
項目	(2017年1月21日～2018年1月22日)	
	金額(円)	比率(%)
平均基準価額	28,289	—
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	1 (1)	0.002 (0.002)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	8 (8) (0)	0.030 (0.030) (0.000)
合計	9	0.032

### ◆組入上位銘柄

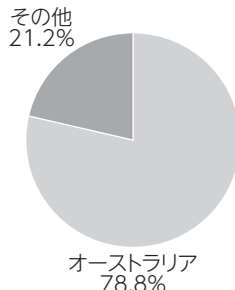
(組入銘柄数：115銘柄)

順位	銘柄	種別	通貨	利率	償還日	比率
1	AUSTRALIA	国債	オーストラリアドル	4.50%	2033/04/21	13.9%
2	QUEENSLAND TREASURY CORP	地方債	オーストラリアドル	5.75	2024/07/22	3.1
3	WESTERN AUSTRALIA TREASURY CORP	地方債	オーストラリアドル	7.00	2021/07/15	2.3
4	MACQUARIE UNIVERSITY	普通社債	オーストラリアドル	6.75	2020/09/09	2.2
5	WESFARMERS LTD	普通社債	オーストラリアドル	6.25	2019/03/28	2.1
6	NEW SOUTH WALES TREASURY CORP	地方債	オーストラリアドル	5.00	2024/08/20	2.1
7	QUEENSLAND TREASURY CORP	地方債	オーストラリアドル	4.75	2025/07/21	1.9
8	AUSTRALIA	国債	オーストラリアドル	4.75	2027/04/21	1.7
9	AUSTRALIA & NEW ZEALAND BANKING GROUP LTD	普通社債	オーストラリアドル	3.25	2021/04/07	1.7
10	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	普通社債	オーストラリアドル	3.00	2021/05/12	1.6

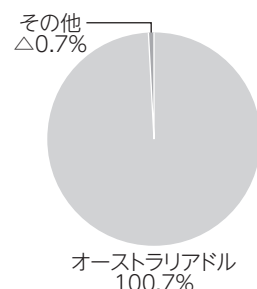
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は当マザーファンドの直近の決算期のものです。費用の項目の概要については2頁をご参照ください。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

(注4) その他は100%と配分比率の合計との差になります。そのため、その他を除く配分比率の合計が100%を超過する場合にはマイナス表示になります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

## <当ファンドのベンチマークについて>

### ●ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ノーヘッジ・円換算ベース）

「ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス [正式名称：Bloomberg AusBond Composite Index] とは、オーストラリアで最も一般的な債券指数の1つで、国債・州政府債・事業債等を含む、固定利付債券を対象とした指数です。なお、当ファンドがベンチマークとする「為替ノーヘッジ・円換算ベース」とは、委託会社が同インデックスを円ベースに換算したものです。

※ブルームバーグおよびブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標またはサービスマークであり、アセットマネジメントOne(株)に対してライセンスされています。ブルームバーグは、ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

●「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。

●「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

●「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

